

クリティーだより



令和5年11月24日

栗生小学校

学校運営協議会

がんばりました！マラソン大会 たくさんの応援ありがとうございました！

11月2日（金）秋晴れの下、マラソン大会を実施しました。今年度は、特別ゲスト「オリンピック木村文子さん」にお越しいただき、走り方のアドバイスやチャレンジすることの大切さを教わりました。

沿道には、たくさんの保護者・地域の方にお越しいただき、本当にありがとうございました。ちょっとしんどいなと思っても、温かい拍手とまなざしに励まされ、最後まで走りきることができました。



わたしは、はじめてのマラソン大会、がんばることができました。全力でがんばって走ったので、木メダルをもらうことができました。クリティーが笑っているかわいい木メダルでした。家にもってかえるとおとうさんとおかあさんが「がんばったね。」といってくれました。はしっているときも、ちいさき人におうえんしてもらえうれしかったです。

（1年生 児童）

マラソン大会が始まるまで、ドキドキしていました。れんしゅうとはちがい、お母さんたちがおうえんしていたからです。走るのががてで上手く走れるか分かりませんでした。でも、ちいさき方やほごしやの方、ほいくしよの子どもたちが、「がんばれ！」とおうえんしてくれて、とてもうれしかったです。だからさいごまでゴールを目指して走りきることができました。目ひょうには、とどかなかったけれど、さいごまで走ることができてよかったです。

（2年生 児童）



「よいい、ドン。」
みんなが一せいに走り出しました。ぜつたいに女子の中で三位以内に入れるという自信と、とちゅうお腹が痛くなるという不安の気持ちと半分半分でした。

きんちようもしていたけど、走る前に「きんちようすることもいいことだよ。」と木村文子さんからお話を聞いたので、ドキドキも楽しもうという気持ちになりました。前の日には、走ってもお腹が痛くない方法を自主学习で調べていたので、やってみるとお腹は痛くなりませんでした。

目標を達成して、三位以内に入ることができました。嬉しかったです。でも、来年は、速い子を抜かして、一位が取れるようにしたいです。

（3年生 児童）





オリンピックに出場された村女子さんに会うことができませんでした。私も走ることは苦手です。でも、木村さんから速く走るコツを教えてもらいました。だんだん走る順番が近づいてきました。いよいよ私が走る時がきました。スタートの瞬間、とても緊張しました。スタートして2周目の時、走るのには疲れたけど、タイムと順位が少しでも縮まればいいなと思います。走りました。学校の外でもたくさんの方が応援してくださいだったので、ゴールできました。応援ありがとうございました。

(4年生 児童)

今年のマラソン大会が楽しかった、やりきったと思えたのは、三つの理由があります。一つ目は、休日も練習していたからです。みんなで声をかけ合いながら、たくさん走りました。だから、練習も本番も走りきることができました。二つ目は、応援があったからです。坂道で、「もう、やだ」と思ったとき、地域の方が「あと、少しで平地だよ。がんばれ!」と言ってください、名前を呼んで応援してくださいる方もいました。だから、がんばることができたんだと思います。三つ目は、5年生みんなが輝けたことです。最後は、5年生みんながゴールすることができ、さすがチーム5年生だと思いました。その輝いている姿が授業でもできたなら、私達は、チーム5年生に近づけているんだと思います。これから5年生全員で輝くチームになれるようにがんばります。

(5年生 児童)



マラソン大会で身に付けたことは、あきらめないことです。私は、マラソン大会が大嫌いです。栗生の地域は坂が多いし、ゴールまで走り切らないと終われないからです。当日は、不安と緊張で心がいっぱいでした。でも、木村さんのお話を聞いて、緊張することは大事ということが分かりました。お話を聞いて、自信を持つことができ、走ってついていけると思うことがあったけれど、ゴールを目指して走り切ることができました。あきらめない力がついたと思います。そして、応援です。自分がしてもらって嬉しかった経験があるので、一生懸命がんばっている人を大きな声で応援しました。最後みんなが走る姿は、みんなが一致団結をしている姿がカッコよくて感動しました。結果は、十一位だったけれど、タイムは縮まったので良かったです。悔しい気持ちを今後もち続けたいです。

(6年生 児童)

各学年男女の1位の児童には、クリッティの木メダルが贈呈されました。



栗生保育所さんも応援にかけつけてくれました!

